(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年5月1日

八尾市長 殿

提出者

住 所 枚方市田口4丁目59番8号 氏 名 安 積 建 設 株 式 会 社 代表取締役 安 積 輝 義 電話番号 072-848-0460

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	八尾市管轄内事業場
事業場の所在地	八尾市管轄区域内
計画期間	令和5年4月1日~令和6年3月31日
当該事業場において現に行	デっている事業に関する事項
①事業の種類	06:総合建設業
②事業の規模	完成工事売上高(令和4年6月決算) 26億754万
③従 業 員 数	6 0 人
④産業廃棄物の一連 の処理の工程	別紙【産業廃棄物の一連の処理の工程】のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産業	薬廃棄物の処理に係る管	理体制に関する事項			7				
	(管理体制図) 別紙【管理体制B	図及び各部署の役割】の	ひとおり						
産業	薬廃棄物の排出の抑制に]				
		【前年度(4年度)						1	
		産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アスファルト塊	建設汚泥		合廃棄物 (管理型)	紙くず	
		排 出 量 (これまでに実施し	159 t	254 t	730	t	58.9 t		0.8 t
		分を依頼した。							
		産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アスファルト塊	建設汚泥	建設系混合	· 廃棄物(管理型)	紙くず	
		排 出 量	100 t	200 t	100	t	30 t		0.5 t
	②計画	(今後実施する予定 再利用及び適正処理の 分を依頼する。	の取組) の取組) のため、可能な限り分別を	と行い、適正な業者へ処		1			
産業	- 				<u> </u>				
	①現状	・Coガラ、Asガラ て、可能な限り分別し	廃棄物の種類及び分別に ラ、木くず、廃プラスチッ 、、処理委託を行っている						
	②計画	(今後分別する予定 ・現状の方法を継続。	の産業廃棄物の種類及び する。	分別に関する取組)					

自ら	行う産業廃棄物の再生	利用に関する事項								
		【前年度(4年度)第	 							
		産業廃棄物の種類	コンクリート塊		アスファルト塊		建設汚泥		建設系混合廃棄物(管理型)	紙くず
	①現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量		0 t		0 t	0	t	0 t	0 t
1	①先仏	(これまでに実施し	た取組)		•					•
		実施せず								
		【目標】					1			
ļ		産業廃棄物の種類	コンクリート塊		アスファルト塊		建設汚泥		建設系混合廃棄物(管理型)	紙くず
		自ら再生利用を行う		0 t	, , , , , , , , ,	0 t		t	0 t	0 t
	②計画	産業廃棄物の量 (今後実施する予定	の取組)							
		予定無し								
4 6	なる女性内を持った 明	加加りを囲みずまで					<u> </u>			
日 b	行う産業廃棄物の中間	処理に関する事項 【前年度(4年度)3	F ⁄ 香 】							
ľ			コンクリート塊		アスファルト塊		建設汚泥	1.	建設系混合廃棄物(管理型)	紙くず
		自ら熱回収を行った	コンクリート処	0 t	ノヘノテルド処	0 t		t	地区水低台舱架物(官型型) 0 t	歌(9 0 t
	0-71	産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		0 t		0 t	0	t	0 t	0 t
	①現状	(これまでに実施し	た取組)							
		実施せず								
		【目標】					-			
ŀ			コンクリート塊		アスファルト塊		その他がれき類	- 1	建設汚泥	建設系混合廃棄物(安定型)
		自ら熱回収を行った		0 t	7 77 7 7 PE	0 t		t	建 取行化 0 t	●政示化日尾来物(女足主) ○ t
		産業廃棄物の量自ら中間処理により減		0 t		0 t		t	0 t	0 t
	②計画	量する産業廃棄物の量 (今後実施する予定								
		予定無し								

	【前年度(4年度)実統	績】									
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アスファルト塊	建設汚泥	建設系混合廃棄物(管理型)	紙くず					
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0	0 t	0 t	0 t	0 t	t				
W-964N	(これまでに実施した	:取組)									
	実施せず										
	【目標】		_						_		
	産業廃棄物の種類	コンクリート塊	アスファルト塊	建設汚泥	建設系混合廃棄物(管理型)	紙くず					
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0	0 t	0 t	0 t	0 t	t				
②計画	(今後実施する予定の	取組)	•		•	•		•			
	予定無し										
業廃棄物の処理の	季託に関する事項										
				4							
	【前年度(4年度)実統		T			1	1	T		T	
	【前年度(4年度)実施 産業廃棄物の種類	演】 コンクリート塊	アスファルト塊	建設汚泥	建設系混合廃棄物(管理型)	紙くず					
	【前年度(4年度)実統		アスファルト塊 254 t	建設汚泥 730 t	建設系混合廃棄物 (管理型) 58.9 t	紙くず 0.8 t	0 t	0 t	13.7 t	1 t	3.9
	【前年度(4年度)実施 産業廃棄物の種類	コンクリート塊				0.8 t	0 t	0 t	13.7 t	1 t	3.9
	【前年度 (4年度) 実終 産業廃棄物の種類 : 全処理委託量 優良認定処理業者	コンクリート塊 159 t	254 t	730 t	58.9 t	0.8 t					
①現状	前年度(4年度) 実施 産業廃棄物の種類 全処理 委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者への 処理 委託量 認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収業者	コンクリート塊 159 t 0 t	254 t	730 t	58.9 t	0.8 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0
①現状	前年度(4年度) 実施産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者への処理委託量 変託量 数定熟回収業者	コンクリート塊 159 t 0 t 159 t	254 t 0 t 254 t	730 t 0 t 730 t	58.9 t 0 t 58.9 t	0.8 t 0 t 0.8 t	0 t	0 t	0 t	0 t	3.9
①現状	前年度(4年度) 実績 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収を行う業者 への処理委託量 にこれまでに実施した	コンクリート塊 159 t 0 t 159 t 0 t 0 t t 50 t	254 t 0 t 254 t 0 t 0 t 0 t	730 t 0 t 730 t 0 t 0 t	58.9 t 0 t 58.9 t 0 t	0.8 t 0 t 0.8 t	0 t 0 t 0 t	0 t	0 t 13.7 t 0 t	0 t 1 t 0 t	0 3.9 0
①現状	前年度(4年度) 実施 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者 の処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者 への処理委託量 にれまでに実施した ・ 企廃処理業者を選定	コンクリート塊 159 t 0 t 159 t 0 t 159 t 0 t 2 t 159 t 0 t 2 t 3 t 4 t 5 t 5 t 5 t 5 t 5 t 5 t 5 t 5 t 5 t 5	254 t 0 t 254 t 0 t 254 t 0 t 0 t	730 t 0 t 730 t 0 t 0 t	58.9 t 0 t 58.9 t 0 t	0.8 t 0 t 0.8 t	0 t 0 t 0 t	0 t	0 t 13.7 t 0 t	0 t 1 t 0 t	0 3.9 0

1 t

0 t

1 t

0 t

0 t

10 t

0 t

10 t

0 t

0 t

1 t

0 t

1 t

0 t

0 t

3 t

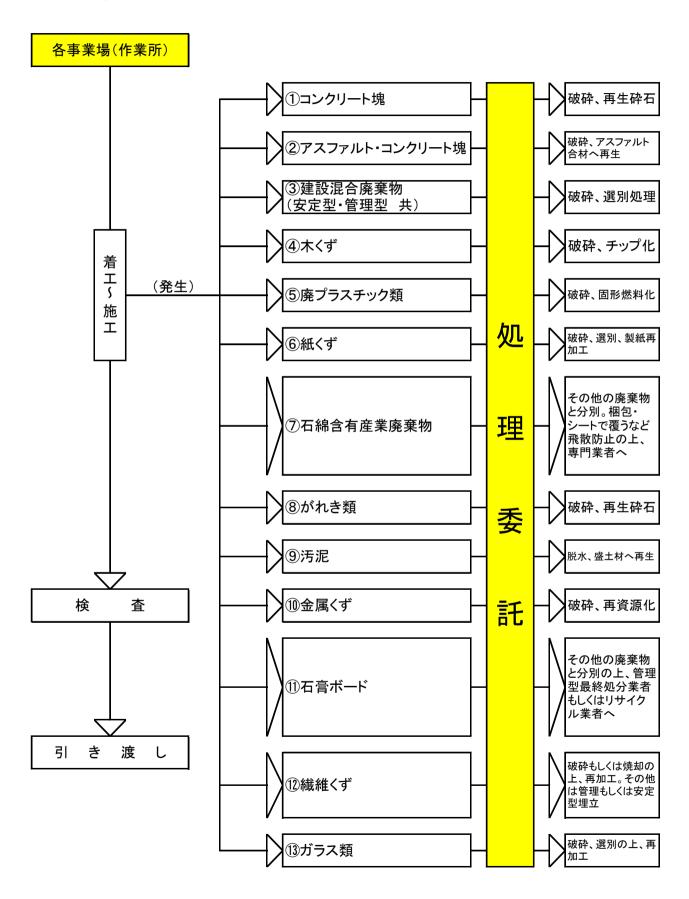
0 t

3 t

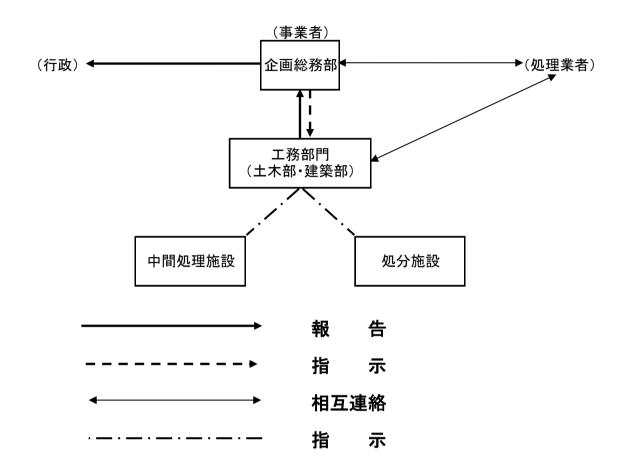
0 t

	[目標】						
	j	産業廃棄物の種類	コンクリート塊 アスファルト塊		建設汚泥	建設系混合廃棄物 (管理型)	紙くず	
	3	全処理委託量	100 t	200 t	100 t	30 t	0.5 t	0
		優良認定処理業者 への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0
		再生利用業者への 処理委託量	100 t	200 t	100 t	30 t	0.5 t	0
		認定熱回収業者 への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0
②計画		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0
	件(こ加えて、委託基準	の取組) 業者を選定する基準の中 を遵守できる、している 理状況の確認を行うよう	ことを設ける。				
		•						

添付資料 産業廃棄物の一連の処理の工程 〔産業廃棄物発生工程フロー〕



添付資料 管理体制図及び各部署の役割 〔管理体制図〕



部署	役 割
A 企画総務部	・産業廃棄物の発生から処分に至るまでの帳簿等を作成して統括的に把握管理 ・産業廃棄物の種類ごとの発生量、排出量及び性状等のチェック、集計等 ・行政に対する報告等 ・処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票(マニフェスト)等の管理 ・産業廃棄物の適正管理等に関する社内啓発 ・各部署間の調整及び指示 ・産業廃棄物処理計画の策定及びその実施
B 工務部門 (土木部・建築部)	・処理業者委託の委託契約の取り交わし、委託量、委託伝票(マニフェスト)等の管理(現場単位) ・産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握 ・各現場の施設の維持管理点検等 ・保管施設での保管量の把握、記録の作成等 ・中間処理施設の稼働状況の把握、記録の作成等 ・最終処分場の稼働状況の把握、記録の作成等 ・産業廃棄物の分析及び環境事象の分析、測定等 ・上記内容をA に報告